

画期的な新型脱水機登場

加藤式

ロータリープレス RP-1型 PAT.P

加藤式ロータリープレスは、独自の脱水機構の開発により、従来の脱水機概念を超越した画期的な高性能を実現しました。



1. コンパクトで省エネ

独自の新脱水機構は装置のコンパクト化を実現するとともに、より小型の動力による運転をも可能にしました。

2. 高脱水効率

独自の新脱水機構は本来の脱水性能においても65%~70%の非常に高い性能を発揮します。

3. メンテ作業の簡素化

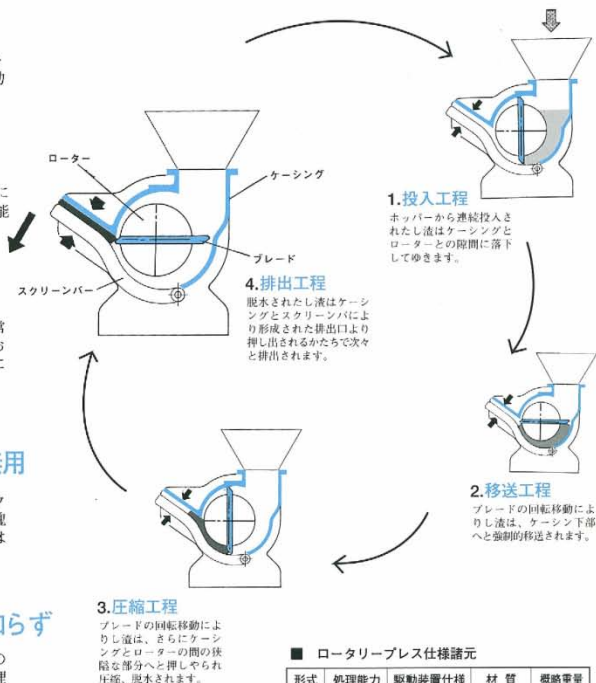
脱水機構部分の解体および復帰が非常に簡単におこなえる構造を有しており、日常の保守点検作業が、飛躍的に改善されました。

4. 異物の混入にもご心配無用

独自のローター機構と、排水部のスクリーンバーの採用により木片や金属塊等の万一の混入の際にも運転に支障はありません。

5. 間欠運転にもトラブル知らず

従来機種にありがちな、間欠運転時の脱水機内部に乾燥状態で残留した処理対象物による、再起動時のマシントラブルは皆無です。



加藤式ロータリープレスの構造的な特色

加藤式ロータリープレスは、「ケーシング」とその内部で回転運動する「ローター」そしてこのローターの動きに同調してスライド移動と回転運動を同時におこなう「ブレード」、および排水部の「スクリーンバー」のおおきくは4つの基本構造部材から構成されています。

そして、その脱水工程は上図の通りきわめて単純な作業の繰り返しですが、この単純さが確実で効率の高い脱水機能やメンテナンスの容易性等の他に類を見ない性能を発揮できる所以なのです。